AJOSC's

平成19年1月～12月の主な活動

1月

平成18年度第8回常任幹事会を開催

2月

平成18年度第9回常任幹事会を開催

3月

平成18年度第4回理事会を開催

①平成19年度助成事業の募集について決定

②定款の一部変更について承認

③賛助会員の入会について承認

④平成18年度「臨時総会」開催について決定

⑤事務局長の選任

平成18年度臨時総会を開催（第一ホテル東京）

①定款の一部変更について決定

②役員（専務理事）の選任

平成18年度第10回常任幹事会を開催

会員ホール掲示用ポスター作成

「AJOSC 全日本社会貢献団体機構」冊子作成

4月

平成19年度第1回常任幹事会を開催

社会貢献活動審査委員会を開催（第2回社会貢献大賞決定）

平成19年度第2回常任幹事会を開催

6月

平成19年度第1回理事会を開催

①平成18年度の事業・決算報告案について承認

②平成19年度事業計画案について決定

③平成19年度予算案について決定

④助成事業運営細則について決定

⑤平成19年度助成事業について決定

⑥平成19年度通常総会開催について決定

⑦第2回社会貢献大賞について（報告）

平成19年度第3回常任幹事会を開催

7月

平成19年度第4回常任幹事会を開催

平成19年度通常総会を開催（平成19年度第2回理事会）

①役員の選任

②平成18年度事業報告について承認

8月6日、全日本社会貢献団体機構（AJOSC）山田茂則理事長（兼全日本遊技事業協同組合連合会理事長）、同団体機構会員新潟県遊技業協同組合堀川理事長、同長野県遊技業協同組合青松理事長の3氏は中越沖地震被災地である新潟県柏崎市役所を訪れ、伊藤収入役に義援金122万円を手渡した。

全日本社会貢献団体機構（AJOSC）が中越沖地震被災地の柏崎市に122万円の義援金を贈呈

AJOSCは全日本遊技事業協同組合連合会が母体となり、平成17年12月、平山郁夫ユネスコ親善大使を名誉会長、遠山敦子元文部科学大臣を会長に、学識経験者、文化人、政財界関係者が参加して設立された第三者機関。全日本遊技事業協同組合連合会及び51都府県方面の遊技業協同組合が会員となり、会費や寄付を基に社会貢献事業を推進。住みよい社会づくりに貢献するため、社会貢献事業への助成金の支援や顕彰を主な活動とし、今年度は、21団体に650万円の助成を行っている。今回の義援金の内訳は、全日本社会貢献団体機構100万円、全日本遊技事業協同組合連合会500万円、長野県遊技業協同組合100万円、ほか8組合より242万円、総額で1242万円となる。すでに7月31日までに奈川、埼玉、宮崎の3県の遊技業協同組合は262万円の義援金を贈呈している。山田理事長は「今後も各県の組合に働きかけ、被災地への義援金はもとよりさまざまな方面で積極的な社会貢献活動を推進していきたい」と語っていた。

2007年8月11日「日刊ゲンダイ」
全日本社会貢献団体機構など12団体が中越沖地震被災地である新潟県柏崎市に義援金を贈呈する記事が掲載された

7年（平成19年）7月26日（木曜日） スポーツニッポン 9版A（10）

平成19年度全日本社会貢献団体機構 通常総会・贈呈式

3分野から21事業選出

助成金合計6500万円

今回は各分野から公募で3分野の事業への助成が決まった。学術・文化の振興部門では、「日本中国文化交流フォーラム事業」（日中国際教育フォーラム）、「国際フォーラム『民間と文化』」（日中合作パレエ）、「日本国際マンガフェスティバル全国大会」（公益社団法人日本国際マンガ・アニメ・ゲーム協会）、「伝統織機『アジアフェアーカイブ』」（伝統織機アジアフェアー実行委員会）の4事業が選ばれた。また、「青少年国際交流事業」（学園研究会）など、人材育成・教育分野の4事業が選ばれた。

自然環境分野では、「ボランティアの育成・活動支援事業」（ボランティア・サポート・ネットワーク）、「日本国際交流センター」（日本国際交流センター）、「高齢者ヘルパー」（高齢者ヘルパー）、「高齢者入浴サービス」（社会福祉法人仁心会）、「ボランティア活動」（ボランティア・ネットワーク）の4事業が選ばれた。

「子どもの健全育成支援事業」の助成は、「ボランティアハンドメイド用いやしの部屋」（ボランティア・ハンドメイド・ネットワーク）、「ボランティア・

Calendar

③平成18年度決算報告について承認

④平成19年度事業計画について決定

⑤平成19年度予算について決定

⑥賛助会員の入会について承認

⑦社会貢献大賞の審査の報告

⑧助成事業選定の経過の報告

平成19年度助成金贈呈式を開催

第2回社会貢献大賞表彰式を開催（ウェスティンホテル東京）

8月

中越沖地震義援金贈呈（山田理事長から新潟県柏崎市伊藤収入役）

9月

平成19年度第5回常任理事会を開催

10月

平成19年度第6回常任幹事会を開催

平成19年度第3回理事会を開催

①平成19年度上半期事業について報告

②平成19年度上半期財務について報告

③平成20年度総会（案）について承認（表彰式・贈呈式と祝賀会のあり方について）

④社会貢献大賞の見直し（案）について承認

⑤「基本財産」の新設（案）について承認

⑦フォーラムの開催（案）について承認

11月

平成19年度第7回常任幹事会を開催

平成19年度第1回社会貢献活動審査委員会を開催

12月

社会貢献フォーラムの開催「子どもたちの安心・安全な社会を目指して」～社会・地域ができること～（浦和パルコ10Fホール）

会場では、社会問題化しているいじめや幼児虐待をメインテーマに、新井満氏（作家・作詞作曲家）と山根基世氏（元NHKアナウンサー）の対談や各界の識者が地域の取り組みや対策を紹介した

平成19年度の通常総会・贈呈式・表彰式・祝賀パーティーのDVDを製作

商業界5月号別冊、12月号別冊でAJOSCの「社会貢献活動」白書が記事として掲載された

埼玉新聞
2007年（平成19年）12月14日 金曜日

子どもに安全な社会を
さいたまで社会貢献フォーラム

次代を担う子どもたちの安心・安全な社会を考えようと十三日、JR浦和駅東口の浦和コミュニティセンター（さいたま市）で「社会貢献フォーラム」（全日本社会貢献団体機構・埼玉新聞社・全国地方新聞社連合会主催）が開かれ、「ことばの社（やしろ）」代表の山根基世氏が講演した。

約三百人が聴講した。社会問題化しているいじめや幼児虐待をメインテーマに各界の識者が地域の取り組みや対策を紹介した。

第一部では、作家で作詞作曲家の新井満氏、元NHKアナウンサーで「ことばの社（やしろ）」代表の山根基世氏の対談。新井氏は少年期、国際的ヒット曲となった「千の風になって」の誕生秘話を交えながら「自分が誕生する千代前の先祖から数えると一人になる。そのうちの誰か一人でも欠けていたあなたは生まれていない」と命の尊さを強調（意味）が多くの人自身が問題として、正面から向き合わなければ、いじめのない社会は（子どもたちに）残せない」と提言した。

第二部では、埼玉大学教育学部付属教育実践総合センター教授の中村任氏、元「阪神淡路震災復興委員会」事務局長の齋藤一氏、埼玉県社会福祉協議会「子どもの安心・安全プロジェクト」担当の竹内健一氏がいじめや虐待のない安心・安全な社会づくりのために「家族・地域・学校・企業（団体）・マスメディアがいかに連携すべきか」を話し合った。フォーラムの総括は二十八日付紙面で掲載予定。

対談する新井満氏（右）と山根基世氏

2007年12月14「埼玉新聞」全日本社会貢献団体機構が主催した「社会貢献フォーラム」の様子が掲載された